



今富っ子

小浜市立今富小学校
平成30年5月14日
= 5 月 号 =

子どもに良い習慣を



新年度が始まって一ヶ月半が過ぎました。いつも、連休明けは、体調不良により欠席する児童が増えるのですが、今年は欠席する児童がほとんどいません。連休中、生活習慣が乱れないように、お家で見ていただいたおかげと喜んでいきます。

PTA総会の時にお話しさせていただきましたが、今年度も、家庭・地域・学校が力を合わせて、子どもに良い習慣(生活習慣・学習習慣・運動習慣)をつけていきたいと思います。

辞書で習慣の意味を調べると、「日常の決まりきった行い。長い間そうするようになること。そうすることがあたかもきまりのようになっていくこと。繰り返しの経験することによって習得し、ストレスを感じずに繰り返せるようになる行動のこと」と書かれています。

「業間マラソン」を考えてみます。今富小学校では、大津波が発生した際の避難場所として、舞鶴若狭自動車道「今富トンネル」上としています。学校から約一キロ離れた場所です。津波到着までの限られた時間内に、約一キロ走って避難することになります。「業間マラソン」の取り組みを通して、長い距離を走ることによるストレスを感じなくなり、繰り返し取り組めるようになり、長い距離を走るという習慣がつくと体力が向上し、大津波発生時のような災害という時に自分の命を自分で守ることができるようになります。

ます。子どもに良い習慣(運動習慣)をつけることの大切さが、ご理解いただけるのではないかと思います。

元気な子に育って欲しい、優しい子に育って欲しい、友達と仲良くできる子に育って欲しい、粘り強く取り組める子に育って欲しい……。こんな思いを持って子育てしておられる方が多いのではないのでしょうか。子どものやる気や元氣、優しい心や温かい気持ちは、全て子どもの脳のはたらきによるものです。脳のはたらき方ひとつで、やる気や元氣が出なくなったり、きつい言葉や冷たい接し方に変わったりします。いつも脳が健康でいきいきとはたらき続けるには、子どもに良い生活習慣をつけてあげることが一番です。PTA総会時に養護教諭からお伝えしたように、学校では、いきいき脳を育てる良い習慣(生活習慣)をつけるために、「早寝早起き、バランス朝ごはん」の取り組みを進めています。今年度、養護教諭や栄養教諭(食に関する指導の専門家)と連携した授業を通して、子どもに教えた考えさせたりしていきます。しかし、この取り組みは、家庭と力を合わせて取り組むことで、大きな効果を得ることが出来ます。「保健だより」「給食だより」の五月号をご覧ください。ただ、ご協力をよろしくお願いします。



ご意見・ご感想をお聞かせください。 (キリトリせん)

お名前 ()

校長の独り言



子どもの頃、駄々をこねていると「鬼に食へらわんぞ」とか、夜遅くまで起きていると「お化けに連れて行かれるぞ」と言われ、怖くて親の言いつことを聞いていた記憶があります。

先日、新聞を読んでいたら、最近よく話題になっているスマホアプリの記事が載っていました。みなさんはご存じでしょうか? 「鬼から電話」というアプリです。アプリを見ると、鬼から電話がかかってくるので、後ろ姿の赤鬼が徐々に怖い顔を入りながら、怖い声で叱ってきます。「もしもし、赤鬼です。また言いつことを聞きますか。今から行きましょうか。お家とどこでした。電話代わってください。ごうう!。鍋に入れて食べるぞ。言いつことをしっかり聞きなさい」と。鬼以外にお化けやマンバなどのキャラクター、寝ないときやお片付けしないときなどのシチュエーションがあります。また、タイマー機能を搭載していて、あたかも電話がかかってきたように見せかけることができるようです。「そんな鬼さんから電話があるの?」と言っただけで子どもは言いつことを聞くそうです。

みなさんは「鬼から電話」アプリ、どう思われますか。

私は、子どもがどんな理由から、言いつことを聞いたかが大切だと思います。視覚や聴覚に訴える「怖い顔や怖い声への怖さ」からであればアウト。食へられる、連れて行かれることで「親と一緒にいらなくなる怖さ」からだったらOK。このアプリを利用したときに、後者の理由から言いつことを聞く子どもに育てたいですね。子どもと過ごす時間を大切に……。



『コデマリ(小手毬)』です。春に小さな白い花を手毬のように咲かせることから、この名前がついたともいわれています。原産地は中国で、江戸時代から庭木として栽培されていました。

『コデマリ』の花言葉は「優雅」です。どんなときでも、大きく深呼吸一つして、心に余裕を持って、優雅な気持ちで周りの方と接することができたら幸せだなと思います。



学校に素焼きの植木鉢がたくさんあります。ご入り用の方は学校まで取りに来ていただければ、お譲りします。

生活科の時間、地域の方にお世話になり、2年生が夏野菜を植えました。



文責：山名 聡